

神奈川県動物愛護管理推進計画（令和3年度～令和12年度） 令和6年度実施結果

施策1 動物愛護管理に関する普及啓発

① 動物愛護普及行事の実施

- 動物愛護週間等の行事として、市民、動物関係団体、獣医師会等と協力し、「動物フェスティバル」「動物愛護フェア」「動物愛護のつどい」等の動物愛護週間事業を開催し、県民の動物愛護精神の高揚を図るとともに、区民まつり等のイベント時に獣医師会、関係団体等と協力し、普及啓発活動を実施した。

事業名	参加人数 (概算)	実施自治体
動物フェスティバル神奈川2024in西湘	600	県、小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町
動物愛護フェスタよこはま2024	13,000	横浜市
動物愛護フェアかわさき2024	6,300	川崎市
幸区動物愛護展（幸区役所）	300	川崎市
どうぶつ愛護フェアinたま区（多摩区役所）	300	川崎市
さがみはら動物愛護キャンペーン2024	400	相模原市
動物愛護センター開放DAY	221	横須賀市
動物フェスティバルよこすか2024	10,000	横須賀市
第51回動物愛護のつどい	1,500	藤沢市

② 適正飼養講習会等の開催

- 動物の飼養者や譲渡対象者等を対象に、適正飼養、しつけ方等についての各種教室、講習会の開催や、獣医師会に委託し相談を実施した。また、小学生等を対象としたいのちの教室、夏休み教室等を開催した。

	事業名	実施回数	参加人数	実施自治体
講 習 会	譲渡前講習会（オンラインにて実施）	545	545	県
	譲渡後講習会	132	251	県
	いのちの教室	6	69	県
	飼い主向け教室（譲渡説明会、防災セミナー）	15	164	県
	譲渡前講習（個別面談にて実施）	100	192	横浜市
	犬の適正飼育セミナー（令和7年2月にも実施予定）	2	74	横浜市
	猫の適正飼育セミナー（令和7年2月にも実施予定）	2	134	横浜市
	譲渡前・譲渡時講習会（個別面談にて実施）	62	146	川崎市
	市民公開講座（ペットの防災セミナー）	2	89	川崎市
	どうぶつの飼い方セミナー	4	90	川崎市
	犬のしつけ方教室	3	74	相模原市
	譲渡前講習（個別面談にて実施）	11	11	相模原市
	動物愛護推進員による講座「高齢ペットのケア」	1	11	相模原市
	動物愛護推進員による講座「わん・ニャンおはなし会」	1	11	相模原市
	人と猫との共生社会支援サポーター養成講習	84	84	相模原市
	犬の飼い方教室	2	38	横須賀市
	犬の飼い方セミナー 実践編	2	24	藤沢市
	ペット防災セミナー（2025年1月15日）	1	30	藤沢市
	市民まなび講座、地区防災訓練内講座	2	56	茅ヶ崎市
	相 談	犬等のしつけ相談	35	35
動物健康電話相談		1,844	1,844	川崎市
猫の相談会		20	101	相模原市
ペットの飼い方相談		1	2	相模原市
体 験	夏休み等（長期休み）の教室	10	92	県
	職業体験（中学生対象）（R7年1月実施予定）	1	7	横浜市
	子どもアドベンチャーカレッジ2024 動物愛護センターの仕事を学ぼう！	2	168	横浜市
	夏休み自由学習2024	2	57	横浜市
	いのち・MIRAI教室	83	2349	川崎市
	サマースクール（小学2～3・4～6年生対象）	8	56	川崎市
	ウィンタースクール（小学1～3・4～6年生対象）	2	35	川崎市
	バックヤードツアー等の施設見学	75	506	川崎市
	いのちの授業	9	241	川崎市
	中学生等職場体験	4	8	横須賀市
	動物愛護センターのお仕事を学ぼう教室	2	20	横須賀市
散歩マナーパトロール	4	8	茅ヶ崎市	

③ 教育現場等での普及啓発の推進

- 小学校、中学校からの依頼に基づき、動物愛護普及啓発を目的とした講習会や職業講話を行った。
(県、横浜市)
- 保育園及び小中学校等を対象に、かわさき犬・猫愛護ボランティアと協働して動物愛護精神普及啓発を目的とした講習会の実施や啓発冊子の配布を行った。(川崎市)
- 小学校へ出張し、ボランティア団体と協働で動物愛護精神の普及啓発を目的とした講習会と音楽劇を実施した。(横須賀市)
実績：3回 参加人数 161名(児童141名+保護者等20名)
- 市内小学生を対象とした「人と動物の絵コンクール」を実施した。(藤沢市)
実績：1回 小学校が参加
人と動物の絵コンクール 応募作品数 2,472点
- 市内中学校の総合学習に協力し、ペットの保護・譲渡について市の取り組みを紹介した。
(茅ヶ崎市)

④ 広報媒体による普及啓発

- 動物愛護週間、適正飼養の推進、動物愛護管理法の周知などに関するポスター、パンフレット等を配布しホームページ・広報紙等において、動物の愛護と適正な飼養に関する普及啓発を実施した。
実績：マイクロチップの重要性について、県のたよりに掲載した。(県)
- 広報よこはま、ホームページ、公式SNSなどを利用して、動物愛護や適正飼育、ペット災害対策などについて普及啓発を実施した。(横浜市)
- 市政だより、市のホームページ、公式SNS、かわさきFM及び地域情報誌等を利用して、動物の適正飼養や災害対策に関する普及啓発を実施した。(川崎市)
- ホームページ、公式SNS、新しい飼い主募集サイト、ホームセンターの掲示板等を利用して、譲渡動物情報等を発信した。(相模原市)
- 広報よこすか、ホームページ、公式SNS等を利用して、動物愛護と適正飼養に関する普及啓発を実施した。(横須賀市)
- 茅ヶ崎市広報掲示板、広報紙、メール配信サービス等を利用して、動物愛護や適正飼育に関しての普及啓発を実施した。(茅ヶ崎市)

施策2 動物の引取り数減少への取組

① 飼い主への普及啓発等

- 動物の引取りを申し出る者に対して、原則として事前相談を受けるものとし、終生飼養や自ら譲渡先を探す等、飼い主への適正飼養指導を行った。
- 動物取扱業者と連携して、購入者や利用者が動物を適正に飼養するための知識の普及啓発を実施した。(県、横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市)
- 令和5年度の犬猫の殺処分ゼロを受け、引き続き殺処分ゼロを目指し、収容数減少や、返還・譲渡の推進に向けて取組みを行った。(県)
- 引取りに関する案内ページ「犬や猫などのペットが飼えなくなったら」をホームページに掲載し、飼い主に対する普及啓発を行った。(県) 【新規】
- 公共の場所で疾病にかかり、又は負傷した犬、猫等の動物の処置を獣医師会等に委託し、また、動物愛護センター等において保護収容等を実施した。

- 飼い主の緊急時に備えた緊急時連絡カード、ステッカー及び缶バッジを作成し、ペットの預け先の事前確保等に係る普及啓発を図った。（相模原市）【新規】
- 飼い主の緊急時に備えた緊急時連絡カードを作成・配布し、緊急時のペットの預け先の事前確保等、飼い主への普及啓発を図った。（藤沢市）【新規】 実績：7件

② 新たに飼い主となる人への啓発

- 新たに飼い主となる人に対して、マイクロチップの装着に係るリーフレットを譲渡前講習会の受講証交付時等に配布した。（県）
- 犬猫等の譲渡前講習を個別に実施し、動物を適正に飼養するための知識の普及啓発を実施した。（横浜市）
実績：参加人数 193名
- 動物愛護センターで譲渡希望者を対象に、譲渡前・譲渡時講習会を行い、動物を適正に飼養するための知識の普及啓発を実施した。（川崎市）
- 猫の譲渡面接会で、譲渡希望者に対し譲渡前面接を行い、動物を適正に飼養するための知識の普及啓発を実施した。（相模原市）

③ 繁殖制限措置の実施の推進

- 動物愛護センターから譲渡する犬・猫に対し、原則として避妊又は去勢手術を行った。（県、横浜市、川崎市、横須賀市）
実績：犬 46頭、猫 53頭（県）
犬 16頭、猫 72頭（横浜市）
犬 3頭、猫 56頭（川崎市）
犬 4頭、猫 36頭（横須賀市）
- 飼い猫又は責任をもって世話をしている所有者の判明しない猫を対象とした避妊又は去勢手術費用の一部補助を実施し、無計画な繁殖の防止を推進した。

猫		実施自治体
雄	雌	
997頭	1,003頭	川崎市
511頭	510頭	横須賀市
46頭	62頭	藤沢市

- 麻布大学との連携により、市保健所から譲渡する犬及び猫に対し、不妊去勢手術を行った。（相模原市）
実績：犬4頭、猫4頭

施策3 動物の返還・譲渡の推進

① 動物の返還の推進

- 犬の登録及び鑑札の装着など、所有明示措置を実施するよう飼い主責任の徹底について指導を実施し、動物の返還を推進した。
- 動物愛護センター、保健所等で保護収容された犬等について、ホームページで情報を公開し、返還を推進した。
- 動物愛護センターに収容された動物に加え、一般家庭等で保護されている犬等についてもホームページに情報を公開することで、返還を推進した。(県)

② 動物の譲渡の推進

- 動物愛護センターに収容された譲渡対象動物をインターネット上で閲覧できるようホームページで公開し、民間企業、ボランティア及び獣医師会等と連携して譲渡を推進した。(県)
- 譲渡対象動物の検索機能等を搭載したホームページにより、譲渡を推進した。(県)
- 譲渡対象動物の紹介をSNSで公開し、譲渡を推進した。(県)
- 譲渡推進のため、譲渡手続きに関するリーフレットを作成し、保健福祉事務所、市町村の行政機関や、イベント等で参加者に配布した。(県)
- 保護犬・猫の迎え方に係る動画等をホームページに掲載し、譲渡を推進した。(県)
- 県が引き取り又は収容した動物の命を守り、その飼養を希望する者に譲渡するための取組の充実を図るために必要な資金を積み立てるため、引き続き、ペットのいのち基金を募集した。(県)
- ペットのいのち基金を活用して、獣医師会等と連携し、ケガや病気の動物に適切な治療を施すことで譲渡を推進した。(県)

獣医師会からの獣医師派遣回数：25回 診察を受けた動物の実頭数：70頭

外部動物病院等にて治療した犬猫の延べ頭数：56頭

- ペットのいのち基金を活用して、犬や猫のしつけや馴化の業務を委託することで譲渡を推進した。(県)

実績しつけ業務の委託回数：13回 しつけを受けた犬の実頭数：35頭

- 主に休日に保護犬・猫の譲渡会等を開催し、譲渡推進を図った(対面式：11月開催、3月開催、オンライン：2月開催、休日施設開放デー：8月開催、1月開催、所外の譲渡会：5月開催)。

(県)

- 動物愛護センターで、登録ボランティアによる動物のトリミング等を行い、譲渡を推進した。

(県)

実績：137頭

- 譲渡希望者に対して、面接等によるマッチングをしたうえで譲渡する「一般譲渡」により譲渡推進を図った。(県)

実績：犬 50頭 猫 127頭

- 犬猫の譲渡を受ける登録ボランティアに対し、新たな飼い主探しに要する費用の一部の補助を実施した。(県)

- 登録ボランティアに譲渡会会場の提供を行い、ボランティアの保護している犬や猫の譲渡推進を図った。(県)

- 横浜市動物愛護センターにおいて、譲渡登録団体による譲渡会を開催し、譲渡の推進を図った。
(横浜市)
- 動物愛護センターの譲渡対象動物をインターネット上で閲覧できるようホームページ、公式SNSにて公開し、譲渡を推進した。(横浜市)
- 譲渡登録団体・獣医師会と連携した譲渡を推進した。(横浜市、相模原市)
- 動物愛護寄附金を広く募集し、寄附いただいた金銭及び物品は、動物愛護センターに收容された犬猫に必要な飼料、医薬品、処置用品や手術用品などの購入に活用した。(川崎市)
- 動物の譲渡を希望する人と飼養を希望する人とを、動物愛護センターのホームページ上で仲介する「動物の譲渡にかかるコーディネート推進事業」により、動物にできる限り生存の機会を与える取組を推進した。(川崎市)
- 譲渡希望者に対し、個別面談によるマッチングを実施することで、動物愛護センターで收容している動物の譲渡の推進を図った。(川崎市)
譲渡数：犬 3頭、猫 65頭
- 動物愛護センターにおいて、センター收容動物の譲渡会を12回、譲渡登録団体による譲渡会を35回(同時開催を含む)開催し、譲渡の推進を図った。(川崎市)
- 動物愛護センターで譲渡を行った動物の飼い主に対して、譲渡後調査を行い、動物の健康状態や飼養状況等を確認するとともに、適正飼養管理等の相談に応じた。(川崎市)
- 市ホームページや公式SNSを利用し、譲渡動物情報等を発信するとともに、駅周辺通路の展示スペースやデジタルサイネージなどを利用して、譲渡の推進を図った。(川崎市)
- 川崎市獣医師会と協定を締結し、病気やケガをした收容動物の診断及び治療に関する助言や協力を得ることで健康面での譲渡適性を高め、譲渡の推進を図った。(川崎市) 【新規】
獣医師会から動物愛護センターへの獣医師派遣回数：32回
獣医師会会員病院にて診療を受けた延べ回数及び頭数：20回、10頭
- ボランティアの協力のもと、收容猫の馴化を促進し、譲渡の推進を図った。(川崎市) 【新規】
- 「人と猫との共生社会支援事業」において、猫の譲渡面接会を実施した。猫の譲渡を希望する人と飼養を希望する人とを会において引き合わせ、猫の譲渡に努めた。(相模原市)
実績：10回(譲受希望者数 242名、参加頭数 185頭、譲渡成立数 71頭)
- 收容した猫の獣医療ケアを一般社団法人相模原市獣医師会に委託し、健康面での譲渡適性を高め、また、馴化のために家庭で一時的に預かって飼養するボランティア(預かりサポーター)に猫を預け、譲渡の推進を図った。(相模原市)
登録者数 13名、預かり頭数 24頭、譲渡成立数 12頭
- 市で收容している猫の譲渡会をホームセンターで開催した。(相模原市) 【新規】
実績：2会場 3回
- 猫のボランティア団体が開催する猫の譲渡会の会場として、犬の一時抑留施設を貸し出した。(相模原市)
- 市の登録譲渡対象団体に対し、飼養費用等を助成し、ボランティア活動を支援した。(相模原市)
- 市の譲渡対象団体として登録を受けたボランティア団体の紹介をホームページに掲載し、ボランティア活動を支援した。(相模原市)
- 市の行う動物愛護事業に対し消耗物品の寄付や、ふるさと納税制度を利用した寄附金及びガバメントクラウドファンディングを実施した。(相模原市) 【新規】

- イベント等において、動物愛護センターに収容されている譲渡対象動物の情報を開示し、動物愛護センターに収容された動物をより多く譲渡できるよう推進した。（横須賀市）
- 動物愛護センターに保護収容された動物の譲渡の推進を図るため、情報を市ホームページ、公式SNSに掲載した。（横須賀市）
- 神奈川県獣医師会及び市内開業獣医師と収容負傷動物診断委託を結び、収容した負傷動物の内、動物愛護センターで診断が困難なケースについて、診断及びその後の治療方針等の助言を受けることにより、適切な治療を施すことで譲渡を推進した。（横須賀市）
- 動物愛護基金を活用し、動物愛護センター愛護棟を飼養管理に適した環境に整えることで猫の譲渡を推進した。（横須賀市）
- 動物愛護推進員と連携して合同譲渡会を開催し、譲渡の推進を図った。（藤沢市）
- 市と協働事業を実施しているボランティア団体の譲渡会の日程等をホームページや広報、メール配信サービス等に掲載し、ボランティア活動を支援した。（茅ヶ崎市）
- 茅ヶ崎・寒川動物愛護協議会で譲渡会を開催し、譲渡の推進を図った。（茅ヶ崎市）

施策4 所有明示の推進

① 犬の登録等の推進

- 市町村との連携や動物取扱業者を通じた啓発等を充実することにより、狂犬病予防法に基づく登録及び鑑札等の装着を推進した。（県）
- 広報、ホームページ、公式SNSを活用した啓発や集合注射会場の設置により、犬の登録、狂犬病予防注射接種、鑑札等の装着を推進した。（横浜市）

② 所有明示の推進

- マイクロチップの普及の推進や、ホームページへの掲載等により、普及推進を図った。（県）
実績：動物愛護センターから譲渡する犬猫については、原則マイクロチップを装着した。
マイクロチップ装着数 犬 75頭、猫 126頭
マイクロチップリーダーの設置施設をホームページで公表した。
マイクロチップの重要性について、県のたよりに掲載した。
- マイクロチップ装着を推進するため、飼い犬、飼い猫に対し、装着費用の一部補助を行った。（横浜市）
実績：犬 31頭、猫 263頭
- 横浜市動物愛護センターから譲渡した犬・猫について、原則マイクロチップを装着した。（横浜市）
実績：犬 28頭、猫 104頭
- 犬猫のマイクロチップ装着の推進や、狂犬病予防法の特例制度について、ホームページへの掲載、窓口配架等により、普及啓発を行った。（川崎市）
- 「マイクロチップによる所有者明示措置推進要綱」に基づき、動物愛護センターから譲渡する犬猫に対して、原則マイクロチップを装着した。（川崎市）
実績：犬 1頭、猫 119頭
- オリジナルの猫用迷子札を作成し、窓口で市民へ無料配布した。また、動物愛護フェアかわさき2024や防災訓練等でも迷子札作成コーナーを設置し、所有明示について普及啓発を行った。（川崎市）
実績：迷子札配布数 193枚

- 犬の登録窓口においてリーフレットを配布し、ホームページの掲載を行い、マイクロチップ装着について普及啓発を行った。（相模原市）
- 市総合防災訓練において、市獣医師会とともにマイクロチップに関するクイズと読み取り体験、資料配布を行った。（相模原市）
実績：令和6年度は台風のため訓練中止
- マイクロチップの普及の推進や、ホームページへの掲載等により、普及推進を図った。（横須賀市）
実績：動物愛護センターから譲渡する犬猫については、原則マイクロチップを装着した。
・マイクロチップ装着数 犬 5頭、猫 52頭
- イベントにおいて、オリジナル迷子札作りやマイクロチップの読み取り体験を行った。（横須賀市）
- 犬の登録窓口において、リーフレットを配布しマイクロチップ装着について普及啓発を行った。（藤沢市）
- マイクロチップ装着に関する普及啓発チラシ等の配布及びホームページへの掲載を行った。（茅ヶ崎市）

施策5 動物による危害や迷惑の防止

① 飼い主のいない猫への対策

- 変動超音波式ネコ被害軽減器を貸し出した。
実績：貸出し件数 48件（県）
未集計（横浜市）*実績あり
145件（川崎市）
17件（相模原市）
7件（横須賀市）
6件（藤沢市）
8件（茅ヶ崎市）
- 「飼い主のいない猫対策ガイドライン」の周知を図った。（県、藤沢市、茅ヶ崎市）
- 飼い主がいない猫を適正に管理できると認められる者が管理する猫について、捕獲器の貸出を行い、動物愛護センター及び委託動物病院で避妊又は去勢手術を行った。（県）
手術実績：111頭（動物愛護センター：84頭、委託動物病院：27頭）
- 「地域猫活動支援事業」に登録した地域の猫について動物愛護センターで避妊又は去勢手術を行うなど、地域猫活動の支援を実施した。（横浜市）
実績：42地域を手術等支援対象活動地域として登録。活動対象猫1,483頭のうち、動物愛護センターで100頭（雄47頭、雌53頭）の避妊又は去勢手術を実施した。
地域猫活動に関する相談件数 491件
- 飼い主のいない猫を増やさないため、飼い主のいない猫を対象に避妊又は去勢手術費用の一部補助を行った。（横浜市） 実績：1,664頭
- 「川崎市猫の適正飼養ガイドライン」や「地域猫活動サポーター登録制度」を周知するとともに、地域猫活動セミナーを開催して地域猫活動の考え方を普及推進した。地域猫活動サポーター登録制度に登録したサポーターが管理する猫について、不妊又は去勢手術費用を補助した。また、動物愛護センターで、不妊又は去勢手術を行った。（川崎市）

実績：登録数 53団体 手術補助 263頭（雄 130頭、雌 133頭）

動物愛護センターでの手術 19頭（雄 12頭、雌 7頭）

- 「相模原市猫の適正飼養ガイドライン」をパンフレットの配布等による周知を図り、猫の適正飼養の啓発を行った。（相模原市）
- 「人と猫との共生社会支援事業」において、猫の相談会、地域猫活動支援事業を行った。（相模原市）

実績：猫の相談会 20回 相談件数 101件 参加人数 109名

- 「人と猫との共生社会支援事業」において、野良猫等の避妊又は去勢手術費用の一部助成、捕獲器の貸出し及び地域猫の避妊又は去勢手術（協定動物病院で実施）を実施した。（相模原市）

避妊去勢手術				捕獲器 貸出し
野良猫		地域猫		
雄	雌	雄	雌	
297頭	329頭	18頭	26頭	115件

- 地域猫活動支援事業において、地域猫活動団体の登録と、登録した団体の管理する猫について動物愛護センターで避妊又は去勢手術を行った。（横須賀市）

実績：登録団体 62団体 避妊又は去勢手術の実施 55頭

- 地域猫活動等啓発推進協議会において、地域猫活動に関する啓発講演会等を行った。（横須賀市）
- 地域住民や新たに地域猫活動を行おうとする方に対し、地域猫活動等啓発推進協議会において作成した「地域猫活動のすすめ」を用いて啓発・助言を行った。（横須賀市）
- 地域猫活動支援事業における活動の課題や対処法について共有する情報交換会を開催した。（横須賀市）
- 「のら猫による近隣トラブルを防ぐために」「猫を正しく飼いましょう」「地域猫活動の進め方」のリーフレットを保健所窓口で配布するとともに、ホームページへの掲載を行った。（藤沢市）
- 「藤沢市さくらねこ無料不妊手術事業」において、公益財団法人どうぶつ基金が配布する無料不妊手術チケットを利用し、登録団体と協働して飼い主のいない猫の避妊又は去勢手術を実施した。（藤沢市）

実績：126頭

- 「飼い主のいない猫の不妊去勢手術及び猫の適正管理普及啓発事業」において、ボランティア団体との協働事業により飼い主のいない猫の避妊又は去勢手術を実施した。（茅ヶ崎市）

実績：49頭

② 飼い主への普及啓発

- 適正飼養講習会の実施、ホームページ等への掲載、犬の糞尿に対する啓発看板の配布などにより、動物の飼い主に対し、適正な飼養管理等について指導、普及啓発を行った。

実績：犬のフン尿の始末啓発プレート配布 3,513枚（横浜市）

犬の糞尿被害防止プレート配布 680枚（川崎市）

犬猫の適正飼養啓発チラシ配布（町内会・自治会等） 約40,000枚（川崎市）

飼い犬のしおり配布 約50,000枚（川崎市）

犬のフン持ち帰り啓発看板配布 436枚（相模原市）

犬の飼い方啓発看板配布 1013枚（横須賀市）
 猫の飼い方啓発看板配布 134枚（横須賀市）
 犬のふん尿防止啓発看板配布 361枚（藤沢市）
 犬の飼い主に対し適正飼養のチラシ配布 約19,200枚（藤沢市）
 犬のフン尿防止啓発看板配布 256枚（大 21枚、小 235枚）（茅ヶ崎市）
 犬のフン害防止イエローチョーク配布 13本（茅ヶ崎市）
 猫の適正飼養啓発チラシ配布（町内会・自治会等） 625枚（茅ヶ崎市）
 犬の適正飼養啓発チラシ配布（町内会・自治会等） 400枚（茅ヶ崎市）

- リーフレット及び冊子「ペットとくらす さしすせそ」を配布し、適正飼養の普及啓発を行った。（川崎市）
- 「神奈川県猫の適正飼養ガイドライン」を飼い主の指導等に活用した。（県、藤沢市、茅ヶ崎市）
- 市民まなび講座を活用し、適正飼養について普及啓発を行った。（茅ヶ崎市）

③ 犬による危害等防止

- 犬については、狂犬病予防及び動物愛護管理の両面から、捕獲、抑留又は野犬等の収容により、こう傷事故等の未然防止を図るとともに、事故発生時には迅速に対応し、飼養者に対して適正な飼育方法を指導することにより事故の再発を防止した。

④ 特定動物による危害等防止

- 特定動物の飼養等許可及び飼養施設の監視指導を行い、逸走防止のための措置や特定動物の飼養又は保管に対する法令遵守を徹底させ、特定動物による危害の発生防止を図った。（県、横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市）

⑤ 不適正な多頭飼育対策

- 10頭以上の犬や猫を飼う場合に、条例に基づく届出が義務化されたことの周知を図るとともに、届出により飼育状況を早期に把握し、必要に応じて、適正飼育について助言や指導を行った。（県、横須賀市、藤沢市、茅ヶ崎市）
- 令和3年3月に策定した「多頭飼育対応指針」及び「多頭飼育対応要領」に基づき、保健福祉事務所等ごとに、市町村等の関係機関で構成される「見守りチーム」を結成して、多頭飼育の早期探知、探知時の連携体制や情報共有体制を構築した。（県）
- 多頭飼育崩壊未然防止に関するウェットティッシュ及びクリアファイルを作成し、保健福祉事務所等の窓口や動物愛護普及啓発イベント等において配布した。（県）
- 多頭飼育問題にかかる原因や課題等を共有し、対応策等、多機関連携体制や対応力強化のため、関係部署を対象に職員を講師とした研修等及び外部講師を招いた研修を実施した。（令和6年11月3回、12月1回実施。令和7年1月1回実施予定）（横浜市）
- 令和7年1月に「川崎市多頭飼育動物等の不妊去勢手術支援事業実施要綱」を、令和7年3月に「多頭飼育問題対応マニュアル」を制定し、多頭飼育問題に取り組むうえでの対応の進め方や対応手段について具体的な内容をまとめるとともに、多機関連携体制を整備した。（川崎市）【新規】
 実績：要綱に基づく動物愛護センターでの手術 猫22頭

- 社会福祉部局と連携して、ケアマネージャー、ホームヘルパー等に対し、高齢者のペット飼育、多頭飼育問題等に関する情報提供等を実施した。（川崎市）
- 福祉部局等の関係課等と緊密な連携を行い、多頭飼育問題等の発生を予防し、早期対応を図るため、「動物の多頭飼育対策等連絡調整会議」を開催した。（12月24日開催）（相模原市）
- 多数の動物を飼育する飼い主を把握し、適正飼養について啓発し、必要に応じて助言や指導を行うことを目的に、条例を改正し、令和7年4月から多頭飼育届出制度を施行することとした。（相模原市）【新規】

施策6 遺棄・虐待防止の取組

① 普及啓発

- 動物を安易に飼い始めないこと、飼養開始前に動物の習性等を理解しておくことについて、ホームページ、リーフレット等の啓発資料などにより普及を図った。
- 動物の遺棄を防止するため、飼えなくなった犬猫等の動物を引き取った。

② 遺棄・虐待発生時の対応

- 警察、市町村、自治会、動物愛護団体等との連携を密にし、適正飼養の普及啓発、連絡体制の構築により、遺棄・虐待発生時の対応を図った。

施策7 動物取扱業の適正化

① 動物取扱業者への監視指導等

- 動物の愛護及び管理に関する法律に基づく動物取扱業者の登録申請、施設立入検査、苦情対応等の機会を通じて、法令遵守、動物の適正な飼養管理、業務に必要な知識及び技術等に対する啓発指導を実施した。（県、横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市）

② 動物取扱業者の知識・技術の向上

- 動物取扱業者の自主管理を推進するため、繁殖管理、従業員教育、記録の保管等について指導を行った。（県、横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市）
- 動物取扱責任者研修を実施した。（県、横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市）

実施自治体	実施方法等
神奈川県	・開催回数は6回（令和7年1月29日午後、30日午前・午後、2月5日午後及び6日午前・午後）、いずれも会場で実施。
横浜市	・オンライン研修形式（eラーニング）で実施。（10月18日から12月20日まで実施） ・会場での視聴形式で実施。（10月10日、11月22日）
川崎市	・1月23日及び2月4日に対面にて実施。
相模原市	・1月15日及び1月21日に対面にて実施。
横須賀市	・11月19日に対面にて実施。

施策8 実験動物及び産業動物の適正な取扱いの推進

① 実験動物の適正な取扱いの推進

- 引き続き、実験動物の適正な取扱いについて対応した。(県)

② 産業動物の適正な取扱いの推進

- 引き続き、産業動物の適正な取扱いについて対応した。(県)

施策9 人と動物の共通感染症への取組

① 普及啓発

- 動物の飼い主や動物取扱業者に対し、講習会、ホームページ等において、人と動物の共通感染症に関する正しい知識や対策についての普及啓発を実施した。

② 調査、情報収集等の実施

- 人と動物の共通感染症の抗体保有状況等の調査の実施、結果の公表を行い、適正な飼養及び健康管理を推進した。(県)

実績：調査実施検体数 197件

- 動物愛護センターの収容動物に対し、適切な時期に病原体検査を実施し、感染の実態把握及び未然防止を図った。(川崎市)

③ 発生に備えた対応等

- 川崎市高病原性鳥インフルエンザ対応指針に基づき対応した。(川崎市)
- 「藤沢市健康危機管理基本指針」「藤沢市死亡した愛がん鳥の鳥インフルエンザ対応マニュアル」等に基づき対応した。(藤沢市)

施策10 災害対策

① 災害時における体制の整備

- 災害時に被災した動物の救援活動の円滑な実施に向けた対策を協議するため、神奈川県災害時動物救護対策連絡会議を開催した。(3月開催)(県)
- 災害時動物救護活動用のケージ等を購入した。(県)
- 災害時に被災した動物の救援活動の円滑な実施に向けた対策を協議するため、横浜市災害時動物救援連絡会を開催した。(横浜市)
- 川崎市域で災害が発生した時の動物救援活動について、「災害時の動物救援活動に関する協定書」を締結している市獣医師会及び発災時に動物救援ボランティアとして活動いただくことが想定されるボランティアとともに、動物救援本部の立上げ及び運営訓練を実施し、具体的な活動内容等を協議した。(川崎市)
- 風水害時避難場所にペットを連れて避難する際の持ち物及びルール等について、ホームページへの掲載等により啓発を行った。(相模原市)
- 災害時動物救護活動用のテント等を購入した。(相模原市)【新規】
- 横須賀市で災害が発生した時の動物救護活動について、横須賀三浦獣医師会と締結している「災害時における動物救護活動に関する協定書」に基づき具体的な救護活動内容について協議した。(横須賀市)

- 「避難所運営マニュアル（ペット対策編）」及び「災害時動物救護マニュアル（ペット飼い主編）」を配布し周知を図った。（藤沢市）
- 市獣医師会・市内獣医大学および防災関連部署合同で勉強会を開催し、災害時の対応や課題について情報の統一化を図った。（藤沢市）【新規】
- 災害時の動物救護活動に関する協定書に基づき、救護活動の具体的な内容を検討した。（茅ヶ崎市）
- 「避難所でのペットの受け入れについて〈ガイドライン〉〈ハンドブック〉」を地域防災訓練等で配布し周知を図った。また、9月21日にペットの避難訓練を開催し、災害時における同行避難や避難生活を模擬体験してもらい、災害時のペット対策の普及啓発を行った。（茅ヶ崎市）
- 「避難所でのペットの受け入れについて〈ガイドライン〉」について、ペット防災手帳及びその内容について掲載した。（茅ヶ崎市）

② 平常時の準備

- 発災時の連携体制について検討した。（県、横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、藤沢市、茅ヶ崎市）
実績：県・6市災害連携検討会の開催（令和6年11月11日）
- 行事開催時に災害時対策に関する展示を行い、啓発を行った。
実績：動物フェスティバル神奈川、県市合同総合防災訓練（ビッグレスキューかながわ）等のイベントにおいて、災害時の持ち出し用品の展示等を行った。（県）
- 災害への備えや災害発生時のマイクロチップの有用性について普及啓発するため、リーフレット「できていますか？ペットの災害対策」をビッグレスキューかながわ、動物フェスティバル神奈川2024in西湘にて配布した。（県）
- イベント等で掲示するための、災害に対する備えや災害時の対応に関する災害普及啓発用パネルを作成した。（県）【新規】
- 地域防災拠点や自治会等の防災訓練において、飼い主が日頃からできる災害時のペット対策の周知や、災害時のペット同行避難について啓発を実施した。（横浜市）
実績：地域防災拠点等での災害時のペット対策啓発
地域防災拠点等におけるペット一時飼育場所やペット防災グッズを横浜市動物愛護センター内に常設展示
市内イベント（総合防災訓練、防災フェア、動物愛護フェスタよこはま、横浜消防出初式等）での災害時のペット対策啓発
- ペット同行避難普及のためのガイドラインとして発行している冊子「災害時のペット対策」の配布や内容の周知により、平常時の備えについて普及を図った。（横浜市）
- 犬の飼い主へ送付する「狂犬病予防注射のお知らせ」に飼い主が備えるべき対策を記載したチラシを同封し周知を図った。（横浜市）
- 震災時の避難場所となる地域防災拠点におけるペット同行避難の受入れに向けた取組を進めるため、避難所運営ゲーム（HUG）横浜市ペット版を作成した。（横浜市）【新規】
- 災害に備え、ケージを保管するとともに、ペットフードをランニングストック方式で備蓄した。（川崎市）
- 発災時に、動物愛護センターの業務を速やかに再開できるよう、災害時初動対応マニュアルとしてアクションカードを作成した。（川崎市）【新規】

- 各区の防災訓練、動物愛護フェアかわさき2024や講習会等において、ペットの災害対策に関する展示、「ペットの飼い主のための防災手帳」「風水害の時 ペットと避難する際のお願い」「備えていますか？ペットの災害対策」等の啓発資料と共に「ペットの災害対策チェックシート（クリアファイル）」、オリジナルエコバッグ等を配布し普及啓発を行った。（川崎市）
- 区役所、動物愛護センター及び駅コンコースに設置された各種デジタルサイネージの利用やポケットティッシュの配布を通して、災害時のペット同行避難及び日頃からの備えについて啓発を行った。（川崎市）【新規】
- 市総合防災訓練で景品付き「ペットの防災対策」クイズ、防災グッズの展示を行った。（相模原市）
実績：令和6年度は台風のため訓練中止
- 麻布大学で開催された「Oneマルシェ」に参加し、ペットの所有明示と災害対策について啓発した。（相模原市）
実績：令和7年3月29～30日実施
- ペットの災害対策に関するチラシを配布し普及啓発を行った。（横須賀市）
- 犬の飼い主に対し、「防災愛犬カード」を配布し災害に備え犬の情報を常時持ち歩くよう普及啓発を行った。（藤沢市）
実績：配布枚数 約2,650枚
- 愛犬手帳に飼い犬の防災対策について記載し、飼い主の意識向上を図った。（茅ヶ崎市）
- 犬以外にも使用できるペット防災手帳を活用し、避難所内でのペットの管理に必要な情報について、飼い主に普及啓発を行った。（茅ヶ崎市）
- ペットの防災について、市民まなび講座を活用して、周知啓発を図った。（茅ヶ崎市）
- 市防災フェスティバルや民間団体が主催する防災関連イベント等に出展し、防災情報の普及啓発を行った。（茅ヶ崎市）【新規】

施策11 人材育成

① 協議会等の開催

- 協議会等の開催により、関係者間の協働関係の構築を図った。
実績：動物愛護管理推進協議会の開催（県）（令和7年3月17日（オンライン開催））
人と動物との共生推進よこはま協議会の開催（横浜市）
第1回 令和6年6月7日 第2回 令和6年11月15日 第3回 令和7年3月7日
実施
茅ヶ崎・寒川動物愛護協議会の開催（令和7年2月17日）（茅ヶ崎市）

② 動物愛護推進員の委嘱及び研修等の実施

- 地域における動物の愛護や適正な飼養に関する指導・助言等を行う動物愛護推進員を委嘱し、委嘱後の活動支援を実施した。
実績：動物愛護推進員委嘱式、意見交換会及び研修会を開催した。（県）
横浜市動物適正飼育推進員研修会を実施した。（横浜市）
（第1回 令和6年7月27日 第2回 令和6年9月21日 第3回 令和6年11月6日
第4回 令和7年2月25日実施予定）
動物愛護推進員の打合せ会を開催した。（相模原市）

- かわさき犬・猫愛護ボランティアに対する積極的な情報提供・情報交換、動物愛護普及啓発イベント等での協働を通じて、さらなる育成・支援を行った。（川崎市）
実績：各区でのかわさき犬猫愛護ボランティア会議（計13回）を開催した。成猫飼養管理支援ボランティア及び子猫飼養管理支援ボランティアは年間を通じて、その他の業務支援ボランティアは行政の活動状況に応じて、支援いただいた。
- 人と猫との共生社会支援サポーターとサポーター連絡会議を実施し、活動の報告、今後の方針等を話し合った。（相模原市）

③ 関係機関等との連携

- 関係自治体の担当職員による各会議の開催により、情報の共有及び連携を図った。
- 研修の実施や環境省、厚生労働省等が行う研修への参加により、動物愛護管理業務担当者の資質の向上を図った。

神奈川県動物愛護管理推進計画の推進

- 「神奈川県動物愛護管理推進協議会」において、県としての事業の実施及び推進について協議した。
- 「神奈川県・保健所設置市動物愛護管理推進会議」を開催し、計画に基づく事業の推進及び進捗管理や施策の総合的な企画及び調整を実施した。